

令和5年度 千歳中学校ラグビー部活動方針

◎ 本校の部活動方針

公立中学校の部活動は生徒の心身の健全育成を目的に行います。

部活動に取り組むにあたって

- ・目的をもって参加するとともに、より良い集団を目指せること。
- ・部活動では心を鍛練すること。そして、技術を身につけること。
- ・自ら意欲的に活動する価値を知ること。
- ・顧問やコーチの指導に従える生徒であること。

以上のようなことが守れる生徒が入部の条件となります。

これらの活動方針をもとに、それぞれの部活動で以下のように取り組みます。

1. ラグビー部の活動目的

ラグビーを通して、心と技術を磨き、自ら意欲的に活動する価値を知る。

2. ラグビー部活動方針

ラグビーという一つの道具を用いて、社会に適用する人材の育成

- (1) 部活動（ラグビー）を通して、非日常の体験から、日々の生活、生き方にいかすようにする。
- (2) ラグビー憲章、LAWS of the GAMEの精神、身体接触といった、ラグビーでしか味わえない文化や精神に着目し、仲間を大切にするRESPECTの姿勢を培う。
- (3) 勝利を目指す中で、チームワークの大切さを学び、自らができることに全力で取り組む。
- (4) 生涯にわたって、ラグビーに親しめる生徒を育成する。
- (5) ラグビーを通して、たくましく、困難を乗り越える力を養う。

3. その他連絡事項

(1) 活動日・場所・時間

○練習日 ×休養日 ▲無いときもある日 ※個人判断で練習

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
朝（7：45～8：10）	×	※	×	※	※		
午後（3月～10月） ～6：15 （11月～2月） ～5：45	×	○	×	○	○	○	▲

※日曜日に大会があることが多い。大会がなければ土日のどちらかは練習を行わない予定

(2) 活動費 年間 7, 000 円

(食育の講師などを招いて、講演費の一部も含んでいます)

(3) 保護者の皆様へ

- ・勝利を目指し、学校の教育活動を最優先し、ラグビーでしか味わえないものを大切にし、たくましく乗り越えていってほしいと願っています。そのため、学校生活ではほとんど見られなくなった厳しい言葉や劣等感などもあるでしょう。それをも乗り越える力を養っていききたいと思います。
- ・身体接触を伴うスポーツです。ケガへのご理解をお願いします。
- ・部費の他に、個人で購入する用具があります。
- ・指導方針へのご理解、ご協力をお願いいたします。

4 年間活動計画

目標 「 R E S P E C T の精神を磨き、少しでも上位をめざす」

月	活動予定	指導計画		
		1 年生	2 年生	3 年生
4	春季大会	基礎基本	基礎基本・ゲーム準備	
5	春季大会	基礎基本	基礎基本・ゲーム準備	
6	関東大会	基礎基本	基礎基本・ゲーム準備	
7	夏季鍛錬期	基礎基本・普及活動	基礎基本・選抜活動・練習ゲーム	
8	夏季鍛錬期 秋季大会 2 部	基礎基本・練習ゲーム	基礎基本・練習ゲーム	
9	秋季大会 1 部 U14 の部 全国大会	基礎基本・ゲーム準備	基礎基本・ゲーム準備	
10	秋季大会 1 部	基礎基本・ゲーム準備	基礎基本・ゲーム準備	
11	東日本大会	基礎基本	基礎基本・ゲーム準備	
12	東日本大会	基礎基本・練習ゲーム	基礎基本・選抜活動・ゲーム準備	
1	新人大会	基礎基本・ゲーム準備	基礎基本・ゲーム準備	
2	新人大会	基礎基本・ゲーム準備	基礎基本・ゲーム準備	
3	合宿（保護者の会主催）	基礎基本	基礎基本	

○ ラグビー部入部のきまり

以下にある「目指すクラブの姿」に向けて、努力できる生徒であるとともに、顧問の指導に従える生徒であること。

目指すクラブ 千歳のキーワードは、「リスペクト・ディシプリン」

DISCIPLINEとは、辞書で調べると、規律、鍛錬、自己統制・・・などと書かれ、日本語での確に表現することは難しいようです。ただ、「プライドを自ら築き上げていく、うわべだけでないプライド、自分で考えて望ましい判断と覚悟をする。目標を持って取り組み、我慢する。人に見られているいないに関らず、信念を持ってチャレンジする。不利益な事を申し出る勇気。自分に矢印を向ける。(何で俺ばかり、俺だけじゃない。はありえない・覚悟)」など、一言で表現するとこの言葉が適切なのかもしれません。これらは、私が考えるたくましい志を持った青年の姿の一部です。こういう人物になるようにチャレンジしていきます。

●魅力あるクラブ

「このクラブでラグビーがしたい。」「是非、小学生をこのクラブに入りたい」など、所属するもの自らが、クラブに魅力を感じ、満足度の高いクラブを目指す。所属する全員が帰属意識を持ち、クラブに誇りを持ち、魅力あるクラブにしようとする人。

●校内・校外から認められるクラブ

学校内はもちろん、学校外からも認められるクラブ作りを目指す。所属する者としてプライドを常に持ち、学生は学生、社会人は社会人として、「当たり前」の行動をとる。

日々の練習時間に比べれば、それ以外の時間の方が圧倒的に多い。学校内、地域から、心の底から応援していただけるクラブ作りを目指す。ラグビーの前に中学生としてしっかり生活しようとする人。

●人間として成長できるクラブ

規制が少ないラグビーというスポーツを通して、人格を形成することを大事にしたい。そして、日々生活している中で、一人の人間として社会に出ても認めてもらえる人間になる。「常識的」な行動がとれる人間に成長できるクラブ作りを目指そうとする人。

●「卑怯なことはしない・100%努力する」伝統を創り守るクラブ

目的意識を持った練習を日々行い、それぞれの役割でそれぞれが努力できるクラブである。

プレーヤーは決められた時間の中で、同じ目的をもった仲間とともに日々自分の力を100%発揮しようとする。(普段練習している姿が、表彰状だと思えるようなチーム) また、ラグビーの起源からもわかるように、ジェントルマンシップという考え方を、絶対に大切にしなければならないものである。わかりやすく言えば、「卑怯なことはしない」ということである。これらを千歳ラグビーの伝統として受け継いでいこうとする人。

目指してはいるものの、なかなか達成できないのが現状ですが、こういう気持ちを持って指導したいと思います。ご協力ください。 また、ケガがどうしても起こるスポーツです。ケガへのご理解をお願いいたします。